

デポアイランド通り会(北谷町)と 台北地下街(台北市)が 交流連携協定を締結

～グローバル連携による地域活性化～



NO.6

【経済産業部】

経済産業部では、商店街の振興に取り組んでいます。今年5月22日、北谷町のデポアイランド通り会(奥原悟会長)と台北市の台北地下街(黄玉珠理事主席)が、交流連携協定(MOU)を締結しました。県内で海外の商店街とお互いの活性化を目的としてこのような協定を結ぶことは初めてです。

デポアイランドは、ファッショングルメ、ライブハウス、美術館等130を超える店舗で構成されています。年間400万人以上が訪れ、経済産業省の「がんばる商店街30選」に選定されています。

ローカルに根差す
グローバルな展開

経済産業部では、商店街の振興に取り組んでいます。今年5月22日、北谷町のデポアイランド通り会(奥原悟会長)と台北市の台北地下街(黄玉珠理事主席)が、交流連携協定(MOU)を締結しました。県内で海外の商店街とお互いの活性化を目的としてこのような協定を結ぶことは初めてです。



▲台北地下街の様子

一方、台北地下街は全長825mに約260の店舗があり、商店街と一体となって下鉄(MRT)が直結され、

50万人/日が利用する交通の拠点となっています。この2つの商店街が連携により交流



▲デポアイランド(北谷町)

平成28年9月、台北地下街の「沖縄の商店街と友好的な交流関係を構築したい」、デポアイランド通り会の「商店街が発展する新たな展開をしたい」との両者の思いから相互に訪問交流が始まり、台北地下街から高さ約5メートル、幅約12メートルの酉(その年の干支)をモチーフにした巨大ランタンが寄贈され、デポアイランド通り会は、台北地下街にて北谷町の観光プロモーションを行う等の交流を経て、今回の協定締結に至りました。

連携協定締結及び経緯

連携協定の内容として、①台北地下街は、広告スペース(W6m、H5m壁面×4ヶ所)を提供し、台北地下街の広報誌にデポアイランド通り会の情報を紹介する、②デポアイランド通り会は、年4回開催される台北地下街でのイベント景品の提供、台北→沖縄往復航空券8人分と2泊×4部屋(ツインルーム)を提供することとなっています。

経済産業部では今後も、支援制度の活用などにより県内商店街の取組をサポートしてまいります。

協定の内容

調印式において、デポアイランド通り会の奥原会長は「台北地下街との連携により、双方のプロモーションを強化し、両商店街の観光客の誘客に繋げたい」、台北地下街の黄理事主席は「今回の調印式が沖縄の多くの方に台湾を訪れるきっかけになつてほしい」と挨拶されました。



▲台北地下街からデポアイランド通り会へ寄贈されたランタン(5m×12m)